

# 再生

## 洗浄工法で

福井商工会議所青年部会員で管更生・洗浄などのパイプ美人（本社福井市賀谷二丁目、鈴木健治社長）の鈴木和男専務が、全国商工会議所青年部連合会のビジネスプランコンテストでグランプリに選ばれた。

ハイフ美人（福井）  
鈴木専務

## 福井工大と開発



グランプリを獲得し、表彰された福井商工会議所青年部の鈴木和男・パイプ美人専務

## 全国会議所事業プランで最優秀

受賞したのは「日本の豊かな水資源を守る『深井戸洗浄事業』」。同社が福井工業大と共同開発した井戸内壁に超高压水を噴射する「ユニバーサル洗浄工法」をさらに改良し、温泉水用の深井戸洗浄に応用

する「ユニバーサル洗浄工法」をさらに改良し、温泉水用の深井戸洗浄に応用

する「ユニバーサル洗浄工法」をさらに改良し、温泉水用の深井戸洗浄に応用

する「ユニバーサル洗浄工法」をさらに改良し、温泉水用の深井戸洗浄に応用

する「ユニバーサル洗浄工法」をさらに改良し、温泉水用の深井戸洗浄に応用

る点も新事業の大きなボ

イントとなっている。

プランの審査会では

「こういうビジネスがあることを分かってもらいたくて熱く語った」という鈴木専務。グランプリ受賞を受け、「洗浄事業を始めた七周年になるがなかなか道が開けてこなかった。大手が参入できない分野でようやく県外から実績が認められてきた。

新技術が確立できれば全國に二万六千本ある温泉井戸の点検、水量復元に役立つ」と、事業展開にあらためて意欲を示した。

起業家育成、新事業創出を目的にしたコンテスト「YEG第二創業支援プロジェクト」には、全

国の商工会議所青年部から三十八プランの応募があり、審査の結果、グランプリ、準グランプリが選ばれた。

同社は、福井工業大や

福井市内の殿、国見、越路村の四商工

会は、合併して来年四月一日に「福井西商工会」を立ち上げ、これを設立することで合意。今秋の正式

## 地域情報化方策探る

岡丸

題に基調講演。同県の情報化基盤を活用、活用策を紹介した。新免氏は「行政が整備した情報通信基盤を活用し、企業

は活性化に取り組むべき」と話し、官で整備し

放している同県の姿勢を強調した。

「官・民・産による地

域の社会推進の取り組みについて」をテーマとしてパネルディスカッションでは行政、住民、産業界の四人のパネリストがそれぞれの立場で地域情

報化を議論。

参加者からは「地域情

県情報システム工業会と全国地域情報産業団などは十日、丸岡町熊堂事例として岡山県高度情報化の推進についてと

社後援を開いた。住民の県産業情報センター

ムinふくい（福井新聞）

報化顧問の新免國夫氏が

「官民一体による地域情報化の推進について」と

た情報網を広く民間に開

世界の四人のパネリストがそれをの立場で地域情